

日本にはたかくまんのエネルギーがある。その中でもよく使われているのは、石油や石炭などの化石燃料だ。しかし、化石燃料を使いすぎることによって地球温暖化の悪化につながっているそう。そこで、人々が化石燃料をつかいすぎない生活を送ることはできないのだろうか。

化石燃料などのエネルギーの消費が増え、入っていったのは、人口増加や産業の発展によることだそう。それが地球温暖化の悪化につながってしまっている。地球温暖化の原因に、という資料を見ると、このまま化石燃料の消費が日増え続けると、地球温暖化や気候変動がますます深刻になると書かれている。このまま化石燃料を人々が使いすぎると、地球温暖化が悪化し、気候変動などが増えて自然災害などがおこやすくなる。と思う。なので、人々の生活に悪影響を与えてしまう可能性がある。そこで再生可能エネルギーを使っていくことが大切だと思う。再生可能エネルギーは二酸化炭素を排出せず、環境にやさしいため、地球温暖化解消に適している。しかし、世界の発電に占める再生可能エネルギーによる割合は、再生可能エネルギーが26.2%、化石燃料を合計

世界の発電に占める再生可能エネルギーによる電力の割合 (2018年見込み)



を再生可能ではないエネルギーが約3、8%  
だとわかる。このように再生可能エネルギー  
は世界の半ではあまり使われていない。  
なので、化石燃料のかわりに再生可能エネ  
ルギーを未来のエネルギーとして、使ってい  
くことが大切だと思いつ。他にも、エネルギ  
ーを節約したりなどの自分たちができる  
こともあると思いつ。

確かに、便利に生活するには化石燃料な  
どのエネルギーを使うことは大切かもしれ  
ない。しかし、これから先の未来、人々は生  
活を続けていく。そこで、人々が便利+を  
求めすぎて地球温暖化をこれ以上悪化  
させることは、決してゆる+されることでは  
ないと思いつのだ。これからの地球の環境を  
守るために、自分のできることをやしてい  
きたい。

→出典①「国谷裕子とマレーン・未来  
のSDGs」②「豊か+」に関する「ブルー文溪  
堂」

「Edutopia」SDGs世界の国や地域が  
協力して持続可能な開発を目指すS  
DGs「東京書籍」